

教科		国語		科目	現代文 B		学年	3	単位数	3
類型		文系			履修規程		必修			
学習の到達目標					使用する主な教材					
近代以降の様々な文章を的確に理解し、適切に表現する能力を高めるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を深め、進んで読書することによって、国語の向上を図り人生を豊かにする態度を育てる。					現代文 B ・ 数研出版					
期	月	配当時間	学習内容			学習の具体的内容とねらい				
第一 学期	4	7	評論 「文化が違うとは何を意味するのか？」 「日本語は非論理的か」 ・ 文章を読んで批評することを通して、社会について自分の考えを深めたり発展させたりする。 ・ 文章を読んで、構成、展開、要旨などを的確にとらえ、その論理性を評価する。			・ 「新しい普遍性」という筆者の主張について、文章中での意味を理解した上で、自分の言葉で表現し直す。 ・ 「多文化主義」「覇権主義」という語の意味を理解し、筆者がどのような意図でこれらの語を用いているのかを理解する。 ・ 文章の筋道を的確にとらえ、その論理性を評価する。 ・ 日本語として定着しているあいまいな表現を論理的に言い換える。				
		1	中間考査							
	6	14	小説「舞姫」 ・ 文章を読んで、人物、情景、心情の描写などを、的確にとらえ、表現を味わう。 ・ 文体や修辞などの表現上の特色をとらえる。			・ 回想手記の形式をふまえて、「豊太郎」の心情を、状況ごとに整理してまとめ「豊太郎」の人物像を考察する。 ・ 漢文的な文体、和文的な文体がそれぞれ作品にもたらす表現上の効果を理解する。				
		1	期末考査							
	第二 学期	7	7	評論「であることとすること」 「人はなぜ働かなくてはならないのか」 ・ 文章を読んで、要旨などを的確にとらえ、その論理性を評価する。 ・ 語句の意味、用法を的確に理解し、語彙を豊かにするとともに、文体や修辞などの表現上の特色をとらえる。			・ 各段落の要旨をまとめ、「民主主義」についての筆者の考えを的確にとらえる。 ・ 仮説とその検証を繰り返し、説得力を持って結論へ導くという論理の展開を整理して筆者の主張をとらえ、その論理性を評価する。 ・ 文章中の逆説的な表現の内容をとらえ、それによってもたらされる表現上の効果を理解する。			
9			小説「赤い繭」「朝のヨット」 ・ 文章を読んで、筆者の意図を的確にとらえ、表現を味わう。 ・ 文章を読んで、人物、情景、心情の描写などを的確にとらえ、表現を味わう。 ・ 文体や修辞などの表現上の特色をとらえる。			・ 「おれ」が置かれている状況を整理し、作品に込められた、寓意について考察する。 ・ 「少年」の心情を表現に即して読み取り、異なる立場から読み深める。 ・ 文章中の比喩表現の内容を理解し、その効果をとらえる。 ・ 「山月記」と比較し、構成の類似点と相違点を理解する。				
10		1	中間考査							
11		13	評論「コピーの芸術」 「メディアのテロル」 ・ 文章を読んで、人物、情景、心情の描写などを、的確にとらえる。 ・ 文体や修辞などの表現上の特色をとらえる。 ・ 語句の意味、用法を的確に理解する。			・ 意味段落に分けてそれぞれの要旨をまとめ、複製に価値を認める筆者の考えを的確にとらえる。 ・ 「物語」と「情報」の対比構造を読み取り、「テロル」としての「メディア」の具体的な内容を的確にとらえる。 ・ 同音異義語の意味と用法を的確に理解し、説明する。 ・ 文章中の比喩表現の内容を理解し、その効果をとらえる。				
		1	期末考査							
12	8		小説「檸檬」 ・ 文章を読んで、筆者の意図や、人物、情景、心情の描写などを的確にとらえ表現を味わう。 ・ 文章を読んで批評することを通して、			・ 人物、情景、心情などを、どのように筆者が描いているのかをとらえ、言葉の美しさや深さについて考察する。 ・ 「私」の「檸檬」に対する心情を、文章の展開に沿ってまとめ人間の物の見方、心の動き方について考えを深める。 ・ 文章中の比喩表現、対比的な表現、オノマトペの表現上の効果				

			人間、社会について自分の考えを深め 発展させる。	を理解する。
第 三 学 期	1	1	学年末考査	
	2			
	3			
評価の方法		定期考査，授業中に実施する小テスト，提出物で総合的に評価する		